

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A-01	図面リスト	A-51	第一理科室 平面詳細図						
A-02	改修工事特記仕様書(1)	A-52	男子・女子更衣室・理科準備室1・2・第一理科室 展開図						
A-03	改修工事特記仕様書(2)	A-53	被服室・被服準備室 平面詳細図						
A-04	改修工事特記仕様書(3)	A-54	被服室・被服準備室 展開図						
A-05	改修工事特記仕様書(4)	A-55	視聴覚室・視聴覚準備室 平面詳細図						
A-06	改修工事特記仕様書(5)	A-56	スタジオ・調整室 平面詳細図・断面展開図						
A-07	改修工事特記仕様書(6)	A-57	視聴覚室 断面展開図						
A-08	改修工事特記仕様書(7)	A-58	視聴覚室 展開図						
A-09	配置図・付近見取り図	A-59	美術室・美術準備室 平面詳細図						
A-10	一般事項・敷地概要・建物概要・工事概要	A-60	美術室・美術準備室 展開図						
A-11	外部仕上・内部仕上表-1	A-61	コンピューター室 平面詳細図						
A-12	内部仕上表-2	A-62	コンピューター室 展開図						
A-13	内部仕上表-3	A-63	音楽室・音楽準備室・書庫 平面詳細図						
A-14	内部仕上表-4	A-64	音楽室・音楽準備室 展開図						
A-15	内部仕上表-5	A-65	1階・2階 家具・廊下廻り掲示板等 配置図						
A-16	改修前 1階・2階平面図 撤去概要	A-66	3階・R階 家具・廊下廻り掲示板等 配置図						
A-17	改修前 3階・R階平面図 撤去概要	A-67	家具詳細図(1)						
A-18	改修後 1階・2階平面図	A-68	家具詳細図(2)						
A-19	改修後 3階・R階平面図	A-69	家具詳細図(3)						
A-20	改修後 立面図	A-70	家具詳細図(4)						
A-21	改修後 1階・2階天井伏図	A-71	家具詳細図(5)						
A-22	改修後 3階・R階天井伏図	A-72	家具詳細図(6)						
A-23	1階・2階 建具配置図	A-73	家具詳細図(7)						
A-24	3階・R階 建具配置図	A-74	外壁改修工事特記仕様書(1)						
A-25	建具表(1)	A-75	外壁改修工事特記仕様書(2)						
A-26	建具表(2)	A-76	外壁改修工事特記仕様書(3)						
A-27	建具表(3)	A-77	外壁クラック改修工事詳細図(1)						
A-28	建具表(4)	A-78	外壁クラック改修工事詳細図(2)						
A-29	建具表(5)	A-79	外壁クラック改修工事詳細図(3)						
A-30	矩計図	A-80	内壁 クラック改修 1階・2階平面図						
A-31	階段平面詳細図	A-81	内壁 クラック改修 3階・R階平面図						
A-32	階段断面詳細図	A-82	仮設計画図1(参考)						
A-33	普通教室 平面詳細図 展開図	A-83	仮設計画図2(参考)						
A-34	会議室1 平面詳細図 展開図	A-84	仮設計画図3(参考)						
A-35	改修前 玄関A ホール 男子・女子便所 倉庫1 平面詳細図								
A-36	改修後 玄関A ホール 倉庫1・5・6 平面詳細図								
A-37	改修前・後 男子便所 倉庫6 展開図								
A-38	玄関A 断面詳細図								
A-39	下足室 詳細図								
A-40	保健室・通級指導 平面詳細図								
A-41	保健室・通級指導 展開図								
A-42	カウンセリングルーム・玄関B・給食配膳室 平面詳細図								
A-43	カウンセリングルーム・給食配膳室 展開図 玄関B 断面詳細図								
A-44	会議室2 展開図								
A-45	放送室・倉庫2 平面詳細図 断面詳細図								
A-46	調理室・調理準備室 平面詳細図								
A-47	調理室・調理準備室 展開図								
A-48	図書室・司書室 平面詳細図								
A-49	図書室・司書室 展開図								
A-50	男子更衣室・女子更衣室・理科準備室1・理科準備室2 平面詳細図								

※図面番号A-02からA-84の工事名称については、図面番号A-01の工事名称に読み替えるものとする。

御注文先	三原市殿	御承認	年月日	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL.0821(2)501501-8	建設コンサルタント登録 第261378号 1級建築士事務所 登録18(1)第1252号 1級建築士登録 第23385号 藤本 誠二	校閲  設計 	設計年月日	2020.03	工事名称 久井中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)	図面番号	A-01	
									図面名称	図面リスト	縮尺	—

3	防水工事	<p>(試験方法)</p> <p>(1) 寸法の測定方法 (厚さ) 試験体の厚さから20mm以内の箇所を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4箇所の平均値を求めたパネルの厚さとする。</p> <p>(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボードの曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。測定項目については、凍結融解試験後、凍結100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する(商業系パネルは200サイクルまでとする)。</p> <p>(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント系」に準じて行う。</p> <p>(4) 凍結融解試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の凍結融解試験方法」に準じて行う。</p> <p>(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×厚さ)を乾燥箱に入れ、その温度を60±3℃に保ち2時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1454「工業用硫酸」に規定する濃度濃液に浸すシリカゲルで満たしたシリンダーに入れ、常圧まで冷却する。次に、試験体の機械両端が40mmになるように標線を描く。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験体の長さを水中に二倍浸し、その上層が水深約30cmとなるように保持して、凍結の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験体を水中から取り出して直ちに表面に付着した水を拭き取り、再び標線の長さ(L2)を測る。</p> <p>吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。 $\Delta L(\%) = \frac{L2 - L1}{L1} \times 100$ ΔL: 吸水による長さ変化率(%) L1: 乾燥時の標線の長さ(mm) L2: 吸水時の標線の長さ(mm)</p> <p>(6) 凍結融解後試験は、JIS A 5422「商業系サイディング」の凍結融解水中試験法によって行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する(商業系パネルは200サイクルまでとする)。20±3℃の気中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約2時間の融解を行う約30分間を1サイクルとする。試験体は試験後に凍結試験の大きさは、4号(長さ400mm、幅200mm)とする。おもりは記号(W1-1000又はW2-500)とする。金属板の積層数及び厚さは、最大幅厚さを測定する。</p>																							
			<p>防水工事の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>材料</th> <th>仕上塗料</th> <th>高目射反率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・MFC ・M30 ・P00</td> <td rowspan="4">D-1 D-2 D-3 D-4</td> <td rowspan="4">防水工事</td> <td rowspan="4">※JIS A 9511による4種複層防水工事</td> <td rowspan="4">※JIS A 9511による4種複層防水工事</td> <td rowspan="4">※JIS A 9511による4種複層防水工事</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・P00 ・W30 ・W40</td> <td rowspan="2">D-1-1 D-1-2</td> <td rowspan="2">防水工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>※JIS A 9511による4種複層防水工事とは、2層1号若しくは2号で透過係数を除く規定に適合するもの。</p>	工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考	・MFC ・M30 ・P00	D-1 D-2 D-3 D-4	防水工事	※JIS A 9511による4種複層防水工事	※JIS A 9511による4種複層防水工事	※JIS A 9511による4種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない	改修用 ・設ける ・設けない	改修用 ・設ける ・設けない	改修用 ・設ける ・設けない	・P00 ・W30 ・W40	D-1-1 D-1-2	防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事
工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考																			
・MFC ・M30 ・P00	D-1 D-2 D-3 D-4	防水工事	※JIS A 9511による4種複層防水工事	※JIS A 9511による4種複層防水工事	※JIS A 9511による4種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない																			
						改修用 ・設ける ・設けない																			
						改修用 ・設ける ・設けない																			
						改修用 ・設ける ・設けない																			
・P00 ・W30 ・W40	D-1-1 D-1-2	防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない																			
						改修用 ・設ける ・設けない																			

6	防水工事	<p>合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>[3. 1. 4] [3. 2. 6] [表 3. 5. 1~3]</p>																							
			<p>防水工事の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>材料</th> <th>仕上塗料</th> <th>高目射反率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・S35 ・S45 ・S45I ・S45II</td> <td rowspan="4">S-F1 S-F2 S-F3</td> <td rowspan="4">防水工事</td> <td rowspan="4">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="4">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="4">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S35I ・S35II</td> <td rowspan="2">S-F1-1 S-F1-2</td> <td rowspan="2">防水工事</td> <td rowspan="2">※改修標準仕様書3.5.2(3)による</td> <td rowspan="2">※改修標準仕様書3.5.2(3)による</td> <td rowspan="2">※改修標準仕様書3.5.2(3)による</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>※改修標準仕様書3.5.2(3)による</p>	工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考	・S35 ・S45 ・S45I ・S45II	S-F1 S-F2 S-F3	防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない	改修用 ・設ける ・設けない	改修用 ・設ける ・設けない	改修用 ・設ける ・設けない	・S35I ・S35II	S-F1-1 S-F1-2	防水工事	※改修標準仕様書3.5.2(3)による	※改修標準仕様書3.5.2(3)による
工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考																			
・S35 ・S45 ・S45I ・S45II	S-F1 S-F2 S-F3	防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない																			
						改修用 ・設ける ・設けない																			
						改修用 ・設ける ・設けない																			
						改修用 ・設ける ・設けない																			
・S35I ・S35II	S-F1-1 S-F1-2	防水工事	※改修標準仕様書3.5.2(3)による	※改修標準仕様書3.5.2(3)による	※改修標準仕様書3.5.2(3)による	脱気装置 ・設ける ・設けない																			
						改修用 ・設ける ・設けない																			

4	外壁塗装工事	<p>ポリマーセメントスラリー</p> <p>[4. 2. 2]</p>													
			<p>外壁塗装工事の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>材料</th> <th>仕上塗料</th> <th>高目射反率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・P00 ・W30 ・W40</td> <td rowspan="2">D-1 D-2</td> <td rowspan="2">外壁</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table>	工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考	・P00 ・W30 ・W40	D-1 D-2	外壁	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事
工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考									
・P00 ・W30 ・W40	D-1 D-2	外壁	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない									
						改修用 ・設ける ・設けない									

5	改修工事	<p>改修工事の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>材料</th> <th>仕上塗料</th> <th>高目射反率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・P00 ・W30 ・W40</td> <td rowspan="2">D-1 D-2</td> <td rowspan="2">改修工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table>	工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考	・P00 ・W30 ・W40	D-1 D-2	改修工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない	改修用 ・設ける ・設けない
			工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考								
・P00 ・W30 ・W40	D-1 D-2	改修工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない											
						改修用 ・設ける ・設けない											
6	改修工事	<p>改修工事の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>材料</th> <th>仕上塗料</th> <th>高目射反率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・P00 ・W30 ・W40</td> <td rowspan="2">D-1 D-2</td> <td rowspan="2">改修工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td rowspan="2">※JIS A 9521による1種複層防水工事</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>改修用 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table>	工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考	・P00 ・W30 ・W40	D-1 D-2	改修工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない	改修用 ・設ける ・設けない
			工法	種類	施工箇所	材料	仕上塗料	高目射反率	備考								
・P00 ・W30 ・W40	D-1 D-2	改修工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	※JIS A 9521による1種複層防水工事	脱気装置 ・設ける ・設けない											
						改修用 ・設ける ・設けない											

Table with 4 columns: Item No., Description, Specification, and Remarks. Includes sections for exterior wall repair, tile replacement, and floor repair.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specification, and Remarks. Includes sections for exterior wall repair, tile replacement, and floor repair.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specification, and Remarks. Includes sections for exterior wall repair, tile replacement, and floor repair.

Table with 4 columns: Item No., Description, Specification, and Remarks. Includes sections for exterior wall repair, tile replacement, and floor repair.

Table with 4 columns: 仕様 (Specification), 数量 (Quantity), 単位 (Unit), 備考 (Remarks). Includes items like 自動式上り引戸 (Automatic overhead door), 重量シャッター (Weighted shutter), 経量シャッター (Measuring shutter), オーパーヘッド (Overhead), 本鋼扉 (Steel door), ガラス (Glass).

Table with 4 columns: 仕様 (Specification), 数量 (Quantity), 単位 (Unit), 備考 (Remarks). Includes items like ガラス留め材 (Glass fastener), ガラスブロック積み (Glass block masonry), ガラス用フィルム (Glass film), 付属電気設備 (Attached electrical equipment), 仕上り (Finishing), 養生 (Protection), ガラス (Glass).

Table with 4 columns: 仕様 (Specification), 数量 (Quantity), 単位 (Unit), 備考 (Remarks). Includes items like 造作用集材 (Manufacturing material), 造作用基礎層材 (Manufacturing base layer material), 床張り用合板 (Bedding board), 防露防湿処理 (Anti-condensation and moisture treatment), ビニルシート・ビニル床材 (Vinyl sheet/flooring).

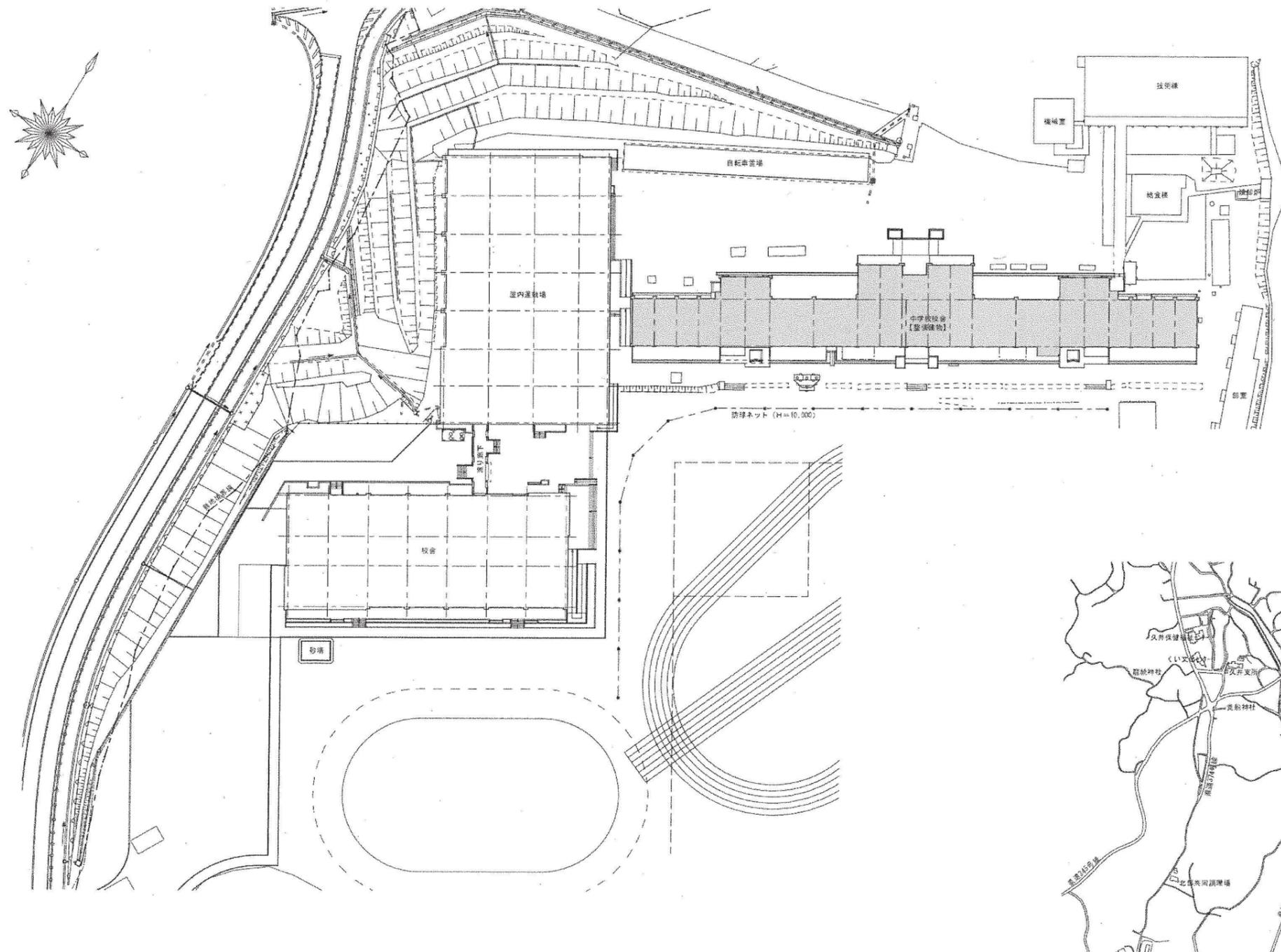
Table with 4 columns: 仕様 (Specification), 数量 (Quantity), 単位 (Unit), 備考 (Remarks). Includes items like ゴム床タイル (Rubber floor tile), カーペット敷き (Carpet), 合成樹脂床材 (Synthetic resin floor material), フローリング張り (Flooring), フローリング (Flooring).

1.0 トイレブース (2.0, 2.5) 表紙材 ※メラミン樹脂系化粧板・ポリエチレン樹脂系化粧板 ドアエッジ材 ※アルミニウム製 構造材 ※ステンレス鋼板 (品質・性能) (1) パネル

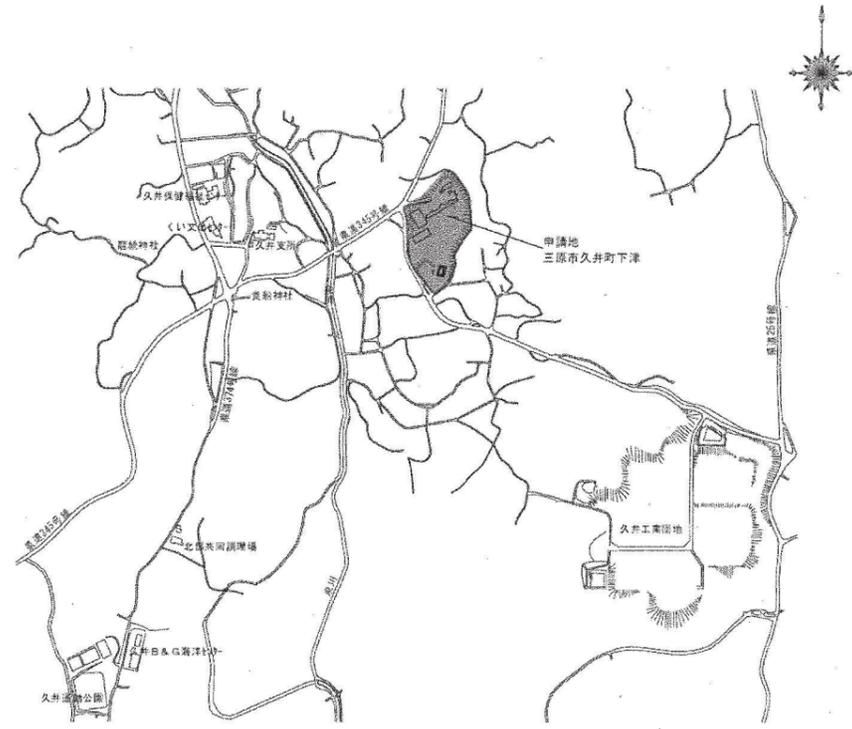
2.1 室外用排水 (2.1, 4.1, 2) (表2.1, 2.1, 2) 2.2 排水用パイプ (2.1, 3.1, 2) (表2.1, 3.1, 2) 2.3 排水用継手 (2.1, 2.1) 2.4 排水用管 (2.2, 2.2, 3, 3) (表2.2, 2.2, 3, 3) 2.5 排水用管 (2.2, 2.2, 3, 3) 2.6 アスファルト舗装 (2.2, 4.2, 2~6)

2.7 コンクリート舗装 (2.2, 5.2, 2~6) 2.8 カラー舗装 (2.2, 6.2, 2~4) (表2.2, 6.2, 1) 2.9 透水性アスファルト舗装 (2.2, 7.2, 2~6) 3.0 ブロック舗装 (2.2, 8.2, 3) 3.1 砂利層 (2.2, 9.2) 3.2 防凍剤 (2.2, 9.2) 3.3 防炎材料 (7.1, 3) 3.4 防音対策 (2.0, 2.6) 3.5 断熱材 (2.0, 2.8) 3.6 防炎ライニング (2.0, 2.11) 3.7 ロールスクリーン (2.0, 2.13) 3.8 アコーデオンドア 4.0 浴槽

4.1 かつきマット 4.2 放散体 4.3 防振ゴム等の設置 4.4 カーテン (2.0, 2.14) 4.5 アコーデオンドア



配置図 SCALE 1/500



付近見取り図

御注文先	三原市殿	御承認		記	年月日	中電技術コンサルタント株式会社 東京都港区新橋2丁目3番30号 TEL:03(5561)2001 FAX:03(5561)2002	設計コンサルタント 藤村 誠司 氏 1級建築士事務所 登録第011-30020号 1級建築士事務所 藤本 誠二 氏 東京都港区新橋2丁目3番30号 TEL:03(5561)2001 FAX:03(5561)2002	校印 図21年03月 2020.03	工事名称 久井中学校長寿命化改修1期工事(建築主体工事)	図面番号 配置図・付近見取り図	図面番号 A-09 縮尺 1/500
------	------	-----	--	---	-----	--	--	--------------------------	---------------------------------	--------------------	-----------------------------

※A2:50%縮小

外部仕上表											
名称	改修前	改修後	名称	改修前	改修後	名称	改修前	改修後			
大 走 上	高圧洗浄機(高圧コンクリート打)	既設のまま	壁 紙 上	ゴムシート防水(POS工法)	既設シート防水下地調整の上塗りシート防水 t=1.5 (高反射タイプ、 遮光工法) (新設) (除去部 全体の5%見込む)	建 具 上	ステンレス製ドア	建具表に依る			
	砕石敷込み(高圧コンクリート打)	既設のまま		立上り部: ゴムシート防水アルミ合板押入	立上り部: ゴムシート防水アルミ合板押入(新設)		アルミ製ドア	建具表に依る			
市 木 上	モルタル塗コテ押入 H=450	クラック修繕高圧洗浄下地調整の上塗り塗材E吹付(新設) H=450	バラベツト 上	立上り部: ゴムシート防水(POS工法)	既設シート防水除去下地調整の上塗りシート防水 t=1.5 (新設)	壁 紙 上	壁紙: 壁紙ビバフ756	既設下地調整の上SOP塗(新設)			
				アルミアングル押入	既設アルミアングル除去後アルミアングル(新設)		養生管: スチールパイプ 100φSOP	既設下地調整の上SOP塗替え(新設)			
外 窓 上	モルタル塗 吹付タイル	1期工事部分: 3期工事部分: クラック・浮き部修繕高圧洗浄の上 可とう防湿層塗材E吹付(アクリルシリコン樹脂仕上) (新設)	バルコニー 上	床: 防水モルタル塗目地切の上塗り防水(ウレタン)	既設塗布防水下地調整の上塗り防水(新設)	階段室A	階段: ゴムシート防水(POS工法)	既設シート防水下地調整の上塗りシート防水 t=1.5 (高反射タイプ、 遮光工法) (新設)			
	階段室廻り :モルタル塗吹付タイル	2期工事部分: 既設吹付タイル除去 (高圧洗浄機付ディスクグラインダーケレン工法・随時養生)		窓木: 防水モルタルの上塗り防水(ウレタン)	既設塗布防水下地調整の上塗り防水(新設)		外壁工事: 手摺	バラベツト: ゴムシート防水(POS工法)	既設シート防水除去後シート防水 t=1.5 (高反射タイプ) (新設)		
	下窓入口脇廻り :モルタル塗吹付タイル	クラック・浮き部修繕高圧洗浄の上塗り塗材E吹付(アクリルシリコン樹脂仕上) (新設)		扉: 防水モルタルの上塗り防水	手摺: 角パイプ SOP塗		ケレン清掃の上SOP塗替え(新設)	RD	アルミアングル押入	既設アルミアングル除去後アルミアングル(新設)	
	コーキング: 打掃目地・化粧目地・サッシ廻り等	既設コーキング除去後コーキング打直し 15x15 (新設)		扉: 防水モルタルの上塗り防水	RD		RD修繕: (除去) 改修用ドレン (新設)			RD修繕: (除去) (新設)	
柱・変型 上	モルタル塗 吹付タイル	1期工事部分: 3期工事部分: クラック・浮き部修繕高圧洗浄の上 可とう防湿層塗材E吹付(アクリルシリコン樹脂仕上) (新設)	梁 上	鉄筋: SOP塗	ケレン清掃の上SOP塗替え(新設)	階段室B	階段: ゴムシート防水(POS工法)	既設シート防水下地調整の上塗りシート防水 t=1.5 (高反射タイプ、 遮光工法) (新設)			
	階段室廻り :モルタル塗吹付タイル	2期工事部分: 既設吹付タイル除去 (高圧洗浄機付ディスクグラインダーケレン工法・随時養生)		D通り5・7・11・12・15・17通り目隠しパネル	ケレン清掃の上SOP塗替え(新設)		養生管: スチール製SOP塗	バラベツト: ゴムシート防水(POS工法)	既設シート防水除去後シート防水 t=1.5 (高反射タイプ) (新設)		
道 上	コーキング: 打掃目地・化粧目地・サッシ廻り等	既設コーキング除去後コーキング打直し 15x15 (新設)	金 物 上	タラップ(塀部)	ケレン清掃の上SOP塗替え(新設)						
	草白: 防水モルタルの上塗り防水	既設下地調整の上塗り防水(新設)		フード: ステンレス製	既設のまま						

内部仕上表																	
階	室名	床	天井	床			巾 木			壁			天 井			電気	備 考
				下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ	下地	仕 上	高さ		
各階内通	廊 下	改修前	±0	C	モルタルコテ押入 塩ビシート t=2.5 貼	100											測定指示板等
		改修後	±0	C	既設仕上除去下地調整の上 長尺塩ビシート t=2.0 張(新設)	100											測定指示板等
	階段室A	改修前	適天	C	モルタルコテ押入 塩ビシート t=2.5 貼	100											測定指示板等
		改修後	適天		既設のまま	100											測定指示板等
階段室B	改修前	適天	C	モルタルコテ押入 塩ビシート t=2.5 貼	100											測定指示板等	
	改修後	適天		既設のまま	100											測定指示板等	
(1~3階) 使用(西)	改修前	2.700	C	モルタルコテ押入 塩ビシート t=2.5 貼													
	改修後	2.700		既設のまま													
(1~2階) 使用(東)	改修前	2.700	C	モルタルコテ押入 塩ビシート t=2.5 貼													
	改修後	2.700		既設のまま													
1 階	玄関 A	改修前	-100	C	磁器タイル張	220											測定指示板等
		改修後	-100		既設のまま												測定指示板等

(共通事項)	(下地部材)	(塗料部材)	(材 料)
・柱型 : 特記なき限り壁仕上に準ずる ・梁型 : 特記なき限り壁仕上に準ずる ・既レベルはFLからの高さを示す。	C : コンクリート CB : ブロック張 MO : モルタル LGS : 経年経手下地 W : 床 木床結 ALC : ALC張	OP : 油性顔料系ペイント塗 AP : アクリル樹脂系エマルジョン塗 SOP : 合成樹脂系ペイント塗 PU : 2液型ポリウレタン系エマルジョン塗 CL : クリアラッカー塗 FSP : 常温乾燥型フッ素樹脂系エマルジョン塗 FE : フタル酸樹脂系エマルジョン塗 EP (G) : 7液系合成樹脂系エマルジョン塗	VP : 塩化ビニル樹脂系エマルジョン塗 UC : ウレタン樹脂系エマルジョン塗 OS : 油性ステイン塗 MSB : マスチック塗材塗 GW : グラスウール

内部仕上表																	
階	室名	床	天井	床			巾木			壁			天井			電気	備考
				仕上	下地	高さ	仕上	下地	高さ	仕上	下地	高さ	仕上	下地	高さ		
1 階	玄関	改修前	-100	2,950	C	モルタルコテ平 磁器タイル張											
		改修後	-100	2,950		既設のまま											
	ホール	改修前	±0	2,825	C	モルタルコテ平 塩ビシート t=2.5貼											
		改修後	±0	2,825	C	既設仕上除去下地調整の上 長尺塩ビシート t=2.0 張 (新設)											
	会議室1	改修前	±0	2,845	C	モルタルコテ平 塩ビシート t=2.5貼											
		改修後	±0	2,845		既設のまま											
	会議室2	改修前	±0	2,600	C	モルタルコテ平 塩ビシート t=2.5貼											
		改修後	±0	2,600		既設のまま											
	洗面(女)	改修前	±0	2,500	C	モルタルコテ平 塩ビシート t=2.5貼											
		改修後	±0	2,500		既設のまま											
	廊下5	改修前	±0	2,500		既設のまま 便器・配管撤去部分:モルタル補修コテ平 塩ビシート t=2.0 (新設) 大規模撤去部分:コンクリート打設 モルタルコテ平塩ビシート t=2.0 (新設)											
		改修後	±0	2,500		既設のまま											
	洗面(男)	改修前	±0	2,500	C	モルタルコテ平 塩ビシート t=2.5貼											
		改修後	±0	2,500		既設のまま											
	廊下6	改修前	±0	2,500		既設のまま 便器・配管撤去部分:モルタル補修コテ平 塩ビシート t=2.0 (新設) 大規模撤去部分:コンクリート打設 モルタルコテ平塩ビシート t=2.0 (新設)											
		改修後	±0	2,500		既設のまま											
	放課後児童クラブ	改修前	+120	3,050	W	フローリング張 t=18											
		改修後	+120	3,050		既設のまま											
	第2放課後児童クラブ	改修前	+120	3,050	W	フローリング張 t=18											
		改修後	+120	3,050		既設のまま											
	下足室	改修前	-130	2,950		モルタルコテ平塩ビ張											
		改修後	-130	2,950		既設のまま											
	倉庫2	改修前	-120	2,940		モルタルコテ平塩ビ張											
		改修後	-120	2,940		既設のまま											
	ふれあい学級A	改修前	+120	3,050	W	フローリング張 t=18											
		改修後	+120	3,050		既設のまま											
	ふれあい学級B	改修前	+120	3,050	W	フローリング張 t=18											
		改修後	+120	3,050		既設のまま											
	保健室	改修前	±0	2,845	C	モルタルコテ平 塩ビシート t=2.5貼											
		改修後	±0	2,845		既設のまま											

凡例	(共通事項)	(下地記号)	(塗料記号)	(材料)			
	・柱型 : 特記なき限り壁仕上に準ずる ・梁型 : 特記なき限り壁仕上に準ずる ・既レベルはF.Lからの高さを示す。	C : コンクリート MO : モルタル W : 床 木床板 壁 木床板	CB : ブロック張 LGS : 軽量鉄骨下地 ALC : ALC張	OP : 油性顔料ペイント塗 SOP : 合成樹脂顔料ペイント塗 CL : クリヤーラッカー塗 FE : フタル酸樹脂エマルジョン塗	AP : アクリル樹脂エマルジョン塗 PU : 2液形ポリウレタンエマルジョン塗 FSP : 常温乾燥形フッ素樹脂エマルジョン塗 EP (G) : 油性合成樹脂エマルジョンペイント塗 TP : 合成樹脂エマルジョン顔料塗	VP : 塩化ビニル樹脂エマルジョン塗 EP : 合成樹脂エマルジョンペイント塗 MP : 多相性顔料塗 GW : グラスウール	UC : ウレタン樹脂ニス塗 OS : 油性スチレン塗 MSP : マスチック塗料

内部仕上表

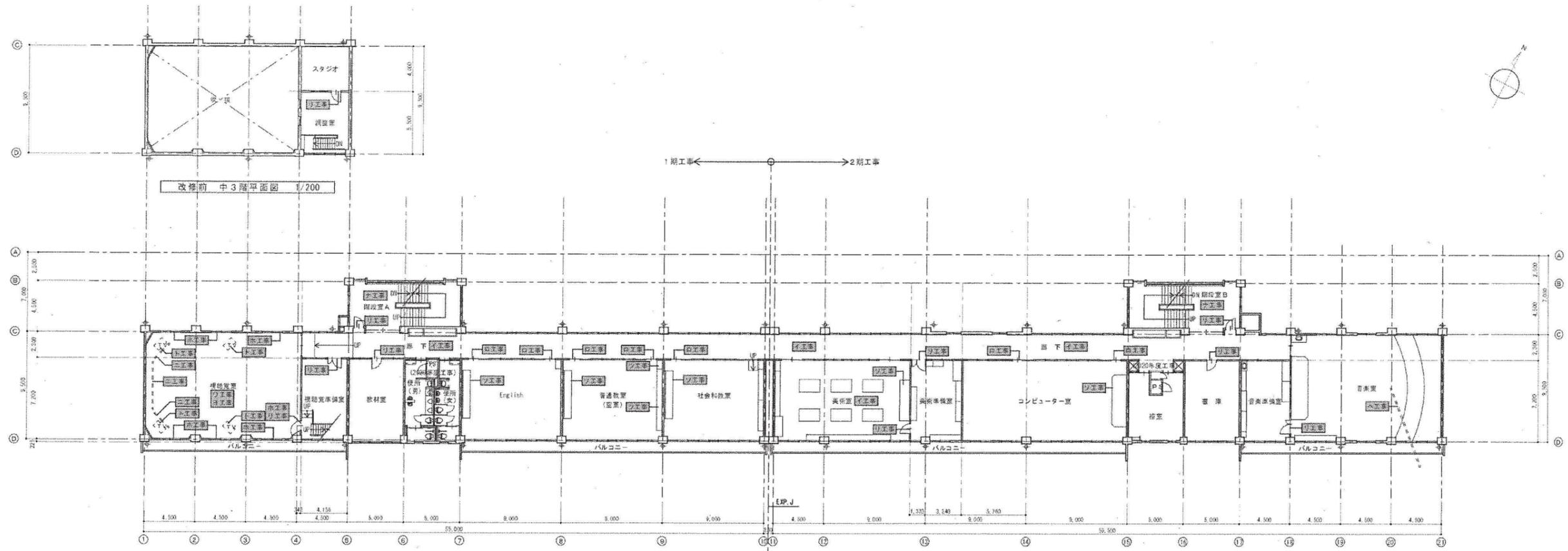
階	室名	床	天井	床			巾木			壁			天井			塗装	電気	備考		
				下地	仕上	高さ	下地	仕上	高さ	下地	仕上	高さ	下地	仕上	高さ					
1階	保体教室	改修前	2,645	W	フローリング t=18							LGS	PB t=12.5 下地ビニールクロス貼り		LGS	化粧PB t=9.5 張				
		改修後	2,645		既設のまま								既設のまま			既設のまま			新設LED	
	保健室	改修前	2,550			モザイクタイル貼り								C	モルタルコテ押えEP張		LGS	化粧PB t=9.5 張		
		改修後	2,550			既設のまま							既設のまま			既設のまま				新設LED
	通廊	改修前	±0	2,820	C	モルタルコテ押えビシート t=2.5 貼り										LGS	化粧PB t=9.5 張			
		改修後	±0	2,820		既設のまま								既設のまま			既設のまま			
	カウセリングルーム	改修前	±0	2,820		タイルカーペット t=6.5										LGS	PB t=9.5 特殊珪藻土 t=9 貼り			
		改修後	±0	2,820		既設のまま								既設のまま			既設のまま			
	給食配膳室	改修前	±0	2,820	C	モルタルコテ押えビシート t=2.5 貼り										LGS	化粧PB t=9.5 張			
		改修後	±0	2,820		既設仕上撤去下地調整の上 長尺ビシート t=2.0 (新設)								既設仕上撤去下地調整の上 SOP 塗替え (新設)			既設のまま			
	会議室 2	改修前	±0	2,840	C	モルタルコテ押えビシート t=2.5 貼り										LGS	化粧PB t=9.5 張			
		改修後	±0	2,840	W	敷設：フローリング t=18 押え食物：(撤去)								既設仕上撤去下地調整の上 長尺ビシート t=2.0 (新設)			既設のまま			
倉庫 3	改修前	±0	2,840	C	モルタルコテ押えビシート t=2.5 貼り										LGS	化粧PB t=9.5 張				
	改修後	±0	2,840	W	敷設：既設仕上撤去下地調整の上 長尺ビシート t=2.0 (新設) 押え食物：ステンレス製ノンスリップ (新設)								既設仕上撤去下地調整の上 SOP 塗替え (新設) (撤去立上り部も上記に準ずる)			既設のまま				既設 SOP
倉庫 4	改修前	±0	2,840	C	モルタルコテ押えビシート t=2.5 貼り										LGS	化粧PB t=9.5 張				
	改修後	±0	2,840		既設のまま								既設のまま			既設のまま				既設 SOP
放送室	改修前	±0	2,850 (撤去)	C	タイルカーペット t=6.5										W	有孔合板 t=5.5 寒冷紗貼りの上SOP張				
	改修後	±0	2,850 (撤去)		既設のまま								既設のまま			既設のまま				既設 SOP
調理室	改修前	±0	3,050	C	モルタルコテ押えビシート t=2.5 貼り										LGS	化粧PB t=9.5 張				
	改修後	±0	3,050		既設のまま								既設のまま			既設のまま				既設 SOP
調理準備室	改修前	±0	2,840	C	モルタルコテ押えビシート t=2.5 貼り										LGS	化粧PB t=9.5 張				
	改修後	±0	2,840		既設のまま								既設のまま			既設のまま				既設 SOP
図書室	改修前	±0	3,050	C	モルタルコテ押えビシート t=2.5 貼り										LGS	化粧PB t=9.5 張				
	改修後	±0	3,050		既設のまま								既設のまま			既設のまま				既設 SOP
図書室	改修前	±0	2,820	C	モルタルコテ押えビシート t=2.5 貼り										LGS	化粧PB t=9.5 張				
	改修後	±0	2,820		既設のまま								既設のまま			既設のまま				既設 SOP

凡例	(共通事項)	(下地記号)	(塗装記号)	(材料)
・柱型：特記なき限り壁仕上とする	C：コンクリート	GB：ブロック張	OP：塩化ビニル樹脂エナメル塗	UC：ウレタン樹脂ウニス塗
・梁型：特記なき限り壁仕上とする	MO：モルタル	LGS：経塗鉄骨下地	AP：アクリル樹脂エナメル塗	UC：ウレタン樹脂ウニス塗
・床レベルはFからの高さを示す。	W：床 木床板	ALC：ALC版	PU：2液型ポリウレタンエナメル塗	OS：油性スチン塗
			FP：フッ素樹脂エナメル塗	SGP：配管用低素鋼管
			FE：フタル酸樹脂エナメル塗	GW：グラスウール
			EP(G)：つや有合成樹脂エマルジョンベント塗	
			TP：合成樹脂エマルジョン塗料塗	

内部仕上表

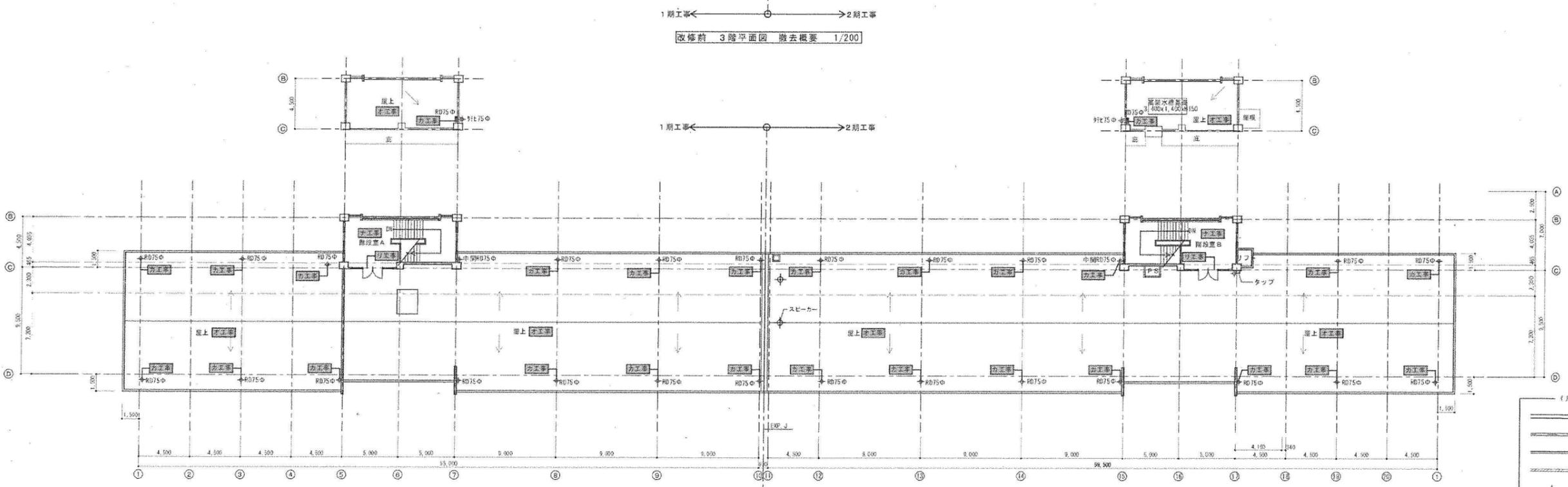
階	室名	床	天井	床		巾木		壁		壁		天井		塗装	電気	備考	
				下地	仕上	下地	仕上	高さ	下地	仕上	高さ	下地	仕上				
2階	準備室	改修前	±0	2.700	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB t=9.5張	地ビ	開き戸：ドアチェック撤去	
		改修後	±0	2.700		既設のまま	既設のまま				C	既設のまま		既設のまま	既設	SCP	新設LED
	普通教室 (1A, 2A, 3A)	改修前	±120	3.050	W	フローリング張 t=18 敷種：フローリング張 t=18 押え金物：(撤去)	木製巾木SOP塗 敷種立上げ板：木製SOP塗	100 290	廊下側：シナ合板SOP塗	800	C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB t=9.5張	地ビ		片引戸：レール撤去
		改修後	±120	3.050	W	既設仕上下地調整の上 壁シート張 t=2.0 (新設) (敷種も上記に準ずる) 押え金物：ステンレス製ノンスリップ (新設)	既設仕上下地調整の上 SOP塗替え (新設) (敷種立上げ板に準ずる)	100	廊下側：既設下地合板撤去 シナ合板 t=5.5 遮目地SOP塗 (新設)	950	C	既設仕上下地調整の上 EP塗替え (新設)		既設のまま	既設	SCP	新設LED
	男子更衣室	改修前	±0	3.050	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB t=9.5張	地ビ		開き戸：レール撤去
		改修後	±0	3.050		既設のまま	既設のまま				W	廊下側：T2 t=5.5遮目地SOP塗 ビニールクロス貼り		既設のまま	既設	SCP	新設LED
	女子更衣室	改修前	±0	3.050	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB t=9.5張	地ビ		開き戸：ドアチェック撤去
		改修後	±0	3.050		既設のまま	既設のまま				W	廊下側：T2 t=5.5遮目地SOP塗 ビニールクロス貼り		既設のまま	既設	SCP	新設LED
	理科準備室1	改修前	±0	3.050	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB t=9.5張	地ビ		開き戸：ドアチェック撤去
		改修後	±0	3.050		既設のまま	既設のまま				W	廊下側：T2 t=5.5遮目地SOP塗 ビニールクロス貼り		既設のまま	既設	SCP	新設LED
	理科準備室2	改修前	±0	2.820	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5 (新築品性)	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB t=9.5張	地ビ		高圧カーテン：D通り、廊下側 H=2.100 撤去
		改修後	±0	2.820		既設のまま	既設のまま				W	廊下側：T2 t=5.5遮目地SOP塗		既設のまま	既設	SCP	新設LED
第一理科室	改修前	±0	3.050	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5 (新築品性) 敷種：フローリング張 t=18	木製巾木SOP塗 敷種立上げ板：木製SOP塗	100	廊下側：シナ合板 t=5.5遮目地SOP塗	1,100	C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB t=9.5張	地ビ		高圧カーテン：D通り、廊下側 H=2.100 撤去	
	改修後	±0	3.050		既設のまま	既設のまま		廊下側：既設下地合板撤去 シナ合板 t=5.5遮目地SOP塗 (新設)	1,100	W	廊下側：T2合板 t=5.5遮目地SOP塗		既設のまま	既設	SCP	新設LED	木製扉具・枠：下地調整の上塗装替え(新設) 高圧カーテン：D通り、廊下側 H=2.100 (新設)
相談室	改修前	±0	2.700	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB t=9.5張	地ビ		開き戸：ドアチェック撤去	
	改修後	±0	2.700		既設のまま	既設仕上下地調整の上 SOP塗替え (新設)				C	既設仕上下地調整の上 EP塗替え (新設)		既設のまま	既設	SCP	新設LED	木製扉具・枠：下地調整の上塗装替え(新設) 網戸：下地調整の上塗装替え (新設) 開き戸：ドアチェック (新設)
保健室	改修前	±150	3.050	W	フローリング張 t=18 一部壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB t=9.5張	地ビ		開き戸：ドアチェック撤去	
	改修後	±150	3.050		既設のまま	既設のまま				W	T2合板 t=6 遮目地SOP塗		既設のまま	既設	SCP	新設LED	木製扉具・枠：下地調整の上塗装替え(新設) 開き戸：ドアチェック (新設) 建築機油サッシ撤去
保健準備室	改修前	±120	2.845	W	フローリング張 t=18 一部壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	化粧PB	地ビ		開き戸：ドアチェック撤去	
	改修後	±120	2.845		既設のまま	既設のまま				W	T2合板 t=6 遮目地SOP塗		既設のまま	既設	SCP	新設LED	木製扉具・枠：下地調整の上塗装替え(新設) 開き戸：ドアチェック (新設)
3階	特別教室	改修前	±0~+300	3,600	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	後背テックス張 t=9 一部ビニールクロス張り	地ビ		網戸・カーテンボックス：既設のまま 小引戸：撤去 テレビ台：4台撤去
		改修後	±0~+300	3,600		既設のまま	既設仕上下地調整の上 SOP塗替え (新設)				C	既設仕上下地調整の上 EP塗替え (新設)		既設のまま	既設	SCP	新設LED
	視聴覚準備室	改修前	±0	2,400	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	後背テックス張 t=9	地ビ		開き戸：ドアチェック撤去
		改修後	±0	2,400		既設のまま	既設のまま				W	穴あきシナ合板 t=6遮目地SOP塗 一部クロス貼り		既設のまま	既設	SCP	新設LED
視聴覚準備室 (中3階)	改修前	±2,650	2,600	C	モルタルコテ押え壁シート張 t=2.5	木製巾木SOP塗	100			C	モルタルコテ押えEP塗	LGS	後背テックス張 t=9	地ビ		開き戸：ドアチェック撤去	
	改修後	±2,650	2,600		既設のまま	既設のまま				W	穴あきシナ合板 t=6遮目地SOP塗		既設のまま	既設	SCP	新設LED	木製扉具・枠：下地調整の上塗装替え(新設) 開き戸：ドアチェック (新設)

凡例	(共通事項)	(下地記号)	(塗装記号)	(材料)	
	・柱型：特記なき限り壁仕上準ずる ・梁型：特記なき限り壁仕上準ずる ・床レベルはFLからの高さを示す。	C：コンクリート MO：モルタル W：床 木製 壁 木製緑組	CB：ブロック種 SOP：合成樹脂適合ペイント塗 ALC：ALC板 FE：フタル樹脂エマルジョン塗	OP：油性割合ペイント塗 PU：合成樹脂エマルジョンペイント塗 FSP：常温乾燥形フタル樹脂エマルジョン塗 EP(G)：つや消成樹脂エマルジョンペイント塗 TP：合成樹脂エマルジョン塗	VP：塩化ビニル樹脂エマルジョン塗 UC：ウレタン樹脂ウニス塗 OS：油性スチレン塗 MSP：マステック塗材 GW：グラスウール



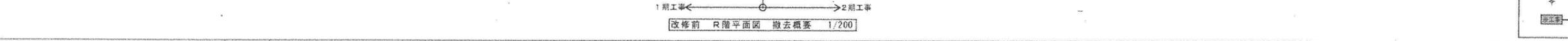
改修前 中3階平面図 1/200

1期工事 ← → 2期工事



改修前 3階平面図 撤去概要 1/200

1期工事 ← → 2期工事



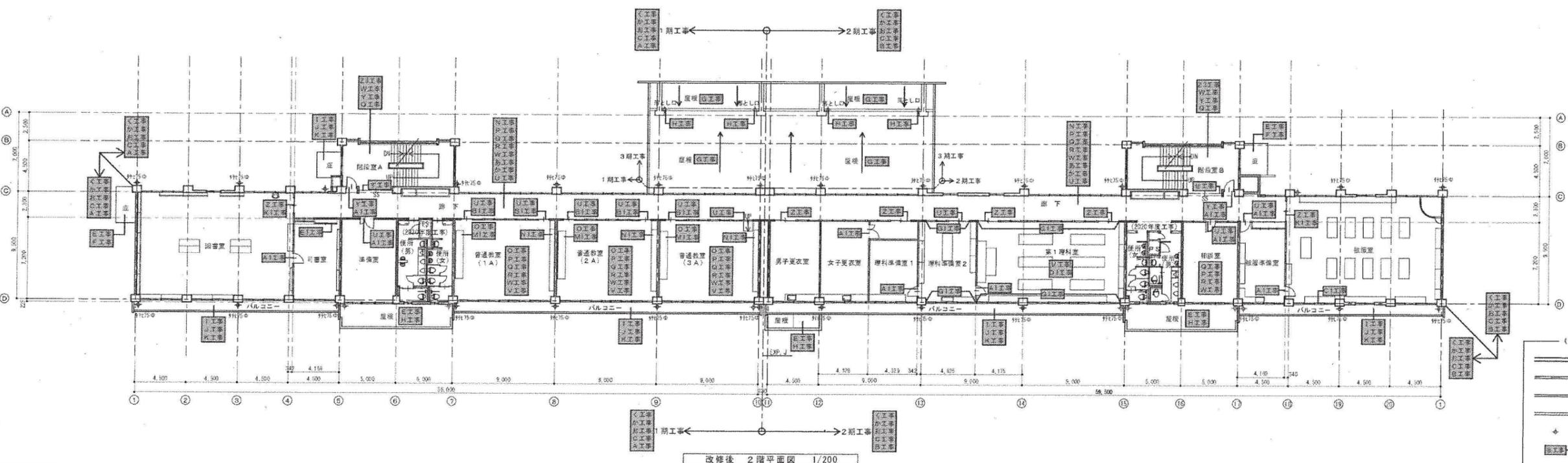
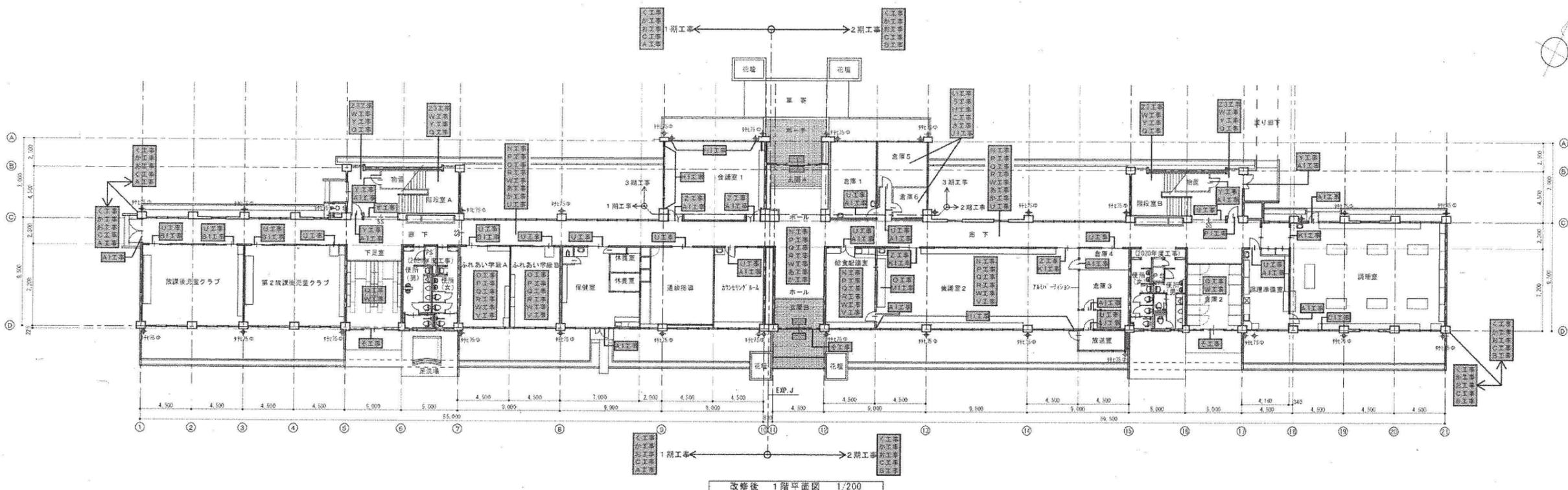
改修前 R階平面図 撤去概要 1/200

1期工事 ← → 2期工事

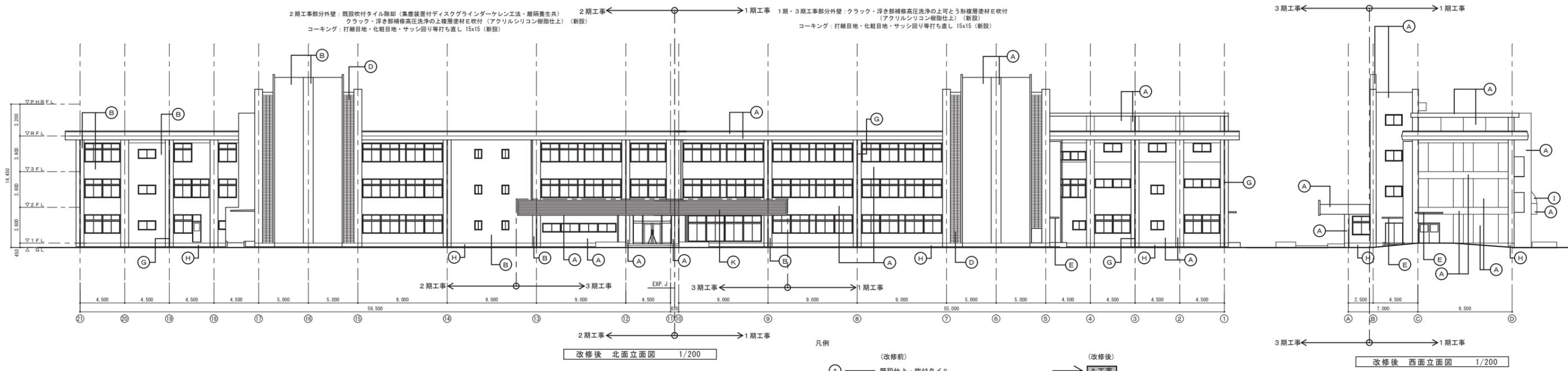
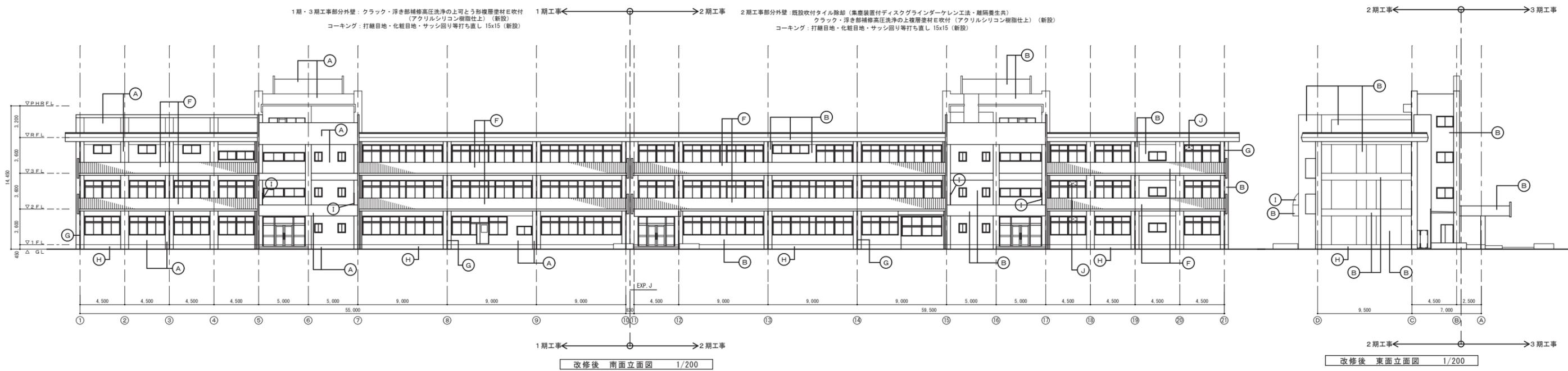
- 【凡 例】
- コンクリート壁
 - L.G.8間仕切り
 - 木間仕切り
 - C.B.壁
 - +
 - +
 - +

記号	工事概要	記号	工事概要	記号	工事概要	記号	工事概要
①	床シート貼り (撤去)	①	テレビ台 (撤去)	①	穴あきシンク台 (撤去)	①	教室ロッカー (撤去)
②	片引戸：レール (撤去)	②	ブラインド (撤去)	②	R.D.撤去	②	収納庫 (撤去)
③	スクリーン (撤去)	③	扉：ドアチェック (撤去)	③	ビニールクロス貼 (撤去)	③	階段天井・段差：ゾノライト吹付部 (撤去) (集塵装置付ディスクライダークレジット工法、防塵養生)
④	シタ合板 (撤去)	④	便器・洗面器及び配管類 (撤去) 設備工事	④	壁名札	④	障子： (撤去) 特共
⑤	透光カーテン (撤去)	⑤	便所網でスクリーン (撤去)	⑤	高架基礎 (撤去)		
⑥	備品及び所持品 (撤去)	⑥	立上り部、シート防水撤去及び防水替え (撤去) 平面部分5%の撤去を算込	⑥	押入れ (撤去)		

※A3: 50%縮小



記号	工事概要	記号	工事概要	記号	工事概要	記号	工事概要
1	クラック・浮き部補修等洗浄の上塗り塗料E付付(アクリルシリコン樹脂仕上)(新設)	1	鉄部:ケレン済鋼の上SOP塗替え(新設) 床具共	1	天井:既設ビールクロス剥去後下地調整の上ビールクロス貼付(新設)	1	設備調整等後入れ
2	コーキング:打撃部・化粧部・サッシ回り等打ち直し 15x15(新設)	2	壁部:硬質塩化ビニルSOP塗替え(新設) 化粧巻紙	2	鉄部:ケレン済鋼の上SOP塗替え(新設) スチール床具共	2	壁石目:パテ補修SOP塗替え
3	既設吹付タイル剥離(奥書庫等付ディスクライダールーム工区・廊下等仕上)	3	床:既設上巻ビニル張り剥去後下地調整の上長尺塩化ビニル張り t=2.0(新設)	3	出入口建具等:下地調整の上SOP塗替え(新設)	3	外壁:クラック補修(特記仕様書に依る)
4	クラック・浮き部補修等洗浄の上塗り塗料E付付(アクリルシリコン樹脂仕上)(新設)	4	床:既設上巻ビニル張り剥去後下地調整の上長尺塩化ビニル張り t=2.0 追付(新設)	4	天井:既設けい酸カルシウム石膏SOP塗替え(新設)	4	外壁:浮き部補修(特記仕様書に依る)
5	コーキング:打撃部・化粧部・サッシ回り等打ち直し 15x15(新設)	5	巾木:既設木製巾木下地調整の上SOP塗替え(新設)	5	木部:下地調整の上SOP塗替え(新設)	5	防火シャッター・防火戸:調整
6	梁天:既設塗布防水下地調整の上塗り防水(新設)	6	壁部:既設モルタルコーナートP下地調整の上EP塗替え(新設)	6	天井:既設上巻下地調整の上内装塗料E付付(新設)	6	出入口建具:マスターキーとする。
7	巾木:クラック補修等洗浄の上塗り塗料E付付(新設) H=450	7	壁部:既設モルタルコーナートP下地調整の上EP塗替え(新設)	7	開口部:ドアチェック取付(新設)	7	バルコニー:既設塗布防水下地調整の上塗り防水(新設)
8	床:平面部・立上り部:既設塗布防水下地調整の上塗り防水(新設) 押入金物:除去・新設	8	壁部:既設T2合成SOP下地調整の上SOP塗替え(新設)	8	片引戸:既設ステンレス製カバパネル(新設)	8	押入金物:スチール製ノンスリップ(新設)
9	立昇付・軒先:既設塗布防水下地調整の上塗り防水(新設)	9	壁部:既設上巻去漆後あきボード t=5.5 SOP塗	9	既設アルミサッシ改修:燃焼後ガラスに取替(新設)	9	壁:モルタルコーナートP下地調整の上EP塗替え(新設)
10	床:既設ゴムシート下地調整の上塩化ビニル防水 t=1.5(既設剥離タイプ)(新設)	10	天井:既設モルタルコーナートP下地調整の上EP塗替え(新設)	10	木製建具・木製付:下地調整の上SOP塗替え(新設)	10	壁:モルタルコーナートP下地調整の上EP塗替え(新設)
11	立上り部:既設シート防水剥離後塩化ビニル防水 t=1.5(既設剥離タイプ)(新設)	11	木製建具・木製付:下地調整の上SOP塗替え(新設)	11	木製家具:既設入り丸・ロッカーの下地調整の上SOP塗替え(新設)	11	一部木製巾木SOP塗(新設)
12	既設アルミ金物等剥離後アルミ金物等入れ(新設)	12	床:既設上巻去漆後あきボード t=5.5 SOP塗	12	収納改修:1ヶ所(新設)	12	高麗水櫃基礎 3,400x1,400xH50 天連・立上り部:塗布防水(新設) 89・81間:010 8200
13	既設ルーフトレン後改修用ルーフトレン(新設)	13	天井:既設モルタルコーナートP下地調整の上EP塗替え(新設)	13	壁:穴あきシタ合板剥去後あきシタ合板 t=5.5 両面付SOP塗(新設)	13	構造スリット・ウレタンゴムマット調整
14	バルコニー床・至木:既設塗布防水下地調整の上塗り防水(新設)	14	木製建具・木製付:下地調整の上SOP塗替え(新設)	14	壁:穴あきシタ合板剥去後あきシタ合板 t=5.5 両面付SOP塗(新設)	14	建具:(新設) 補具
15	バルコニー天井・至木:外装工事(A工事)・(B工事)に準ずる。	15	木製家具:既設入り丸・ロッカーの下地調整の上SOP塗替え(新設)	15	壁:穴あきシタ合板剥去後あきシタ合板 t=5.5 両面付SOP塗(新設)	15	内装壁:クラック補修
16	バルコニー手摺:100x50角パイプレン調の上SOP塗替え(新設)	16	床:既設上巻去漆後あきボード t=5.5 SOP塗	16	壁:穴あきシタ合板剥去後あきシタ合板 t=5.5 両面付SOP塗(新設)	16	シャッター:危険防止装置(新設)
17	手摺子:16φ φ150 ケレン済鋼の上SOP塗替え(新設)	17	天井:既設モルタルコーナートP下地調整の上EP塗替え(新設)	17	壁:穴あきシタ合板剥去後あきシタ合板 t=5.5 両面付SOP塗(新設)	17	シャッター:危険防止装置、レール引き対応(ゴム系)(新設)
18		18	木製家具:既設入り丸・ロッカーの下地調整の上SOP塗替え(新設)	18	壁:穴あきシタ合板剥去後あきシタ合板 t=5.5 両面付SOP塗(新設)	18	内部クレセント調整



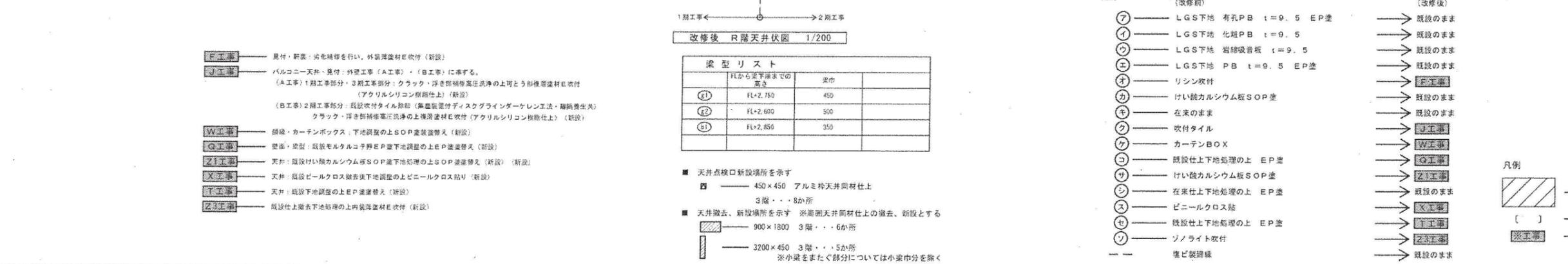
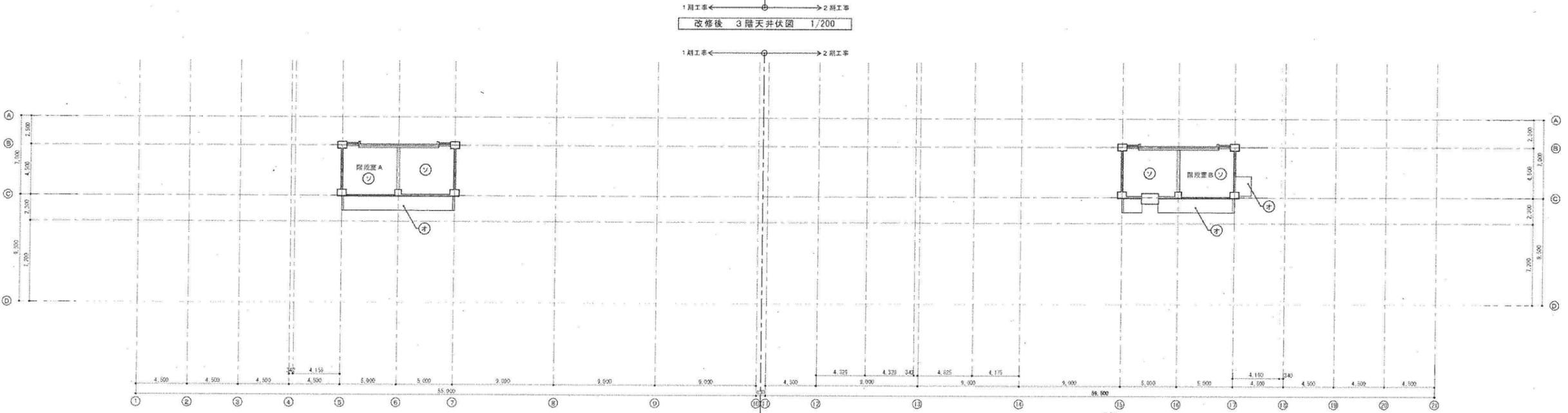
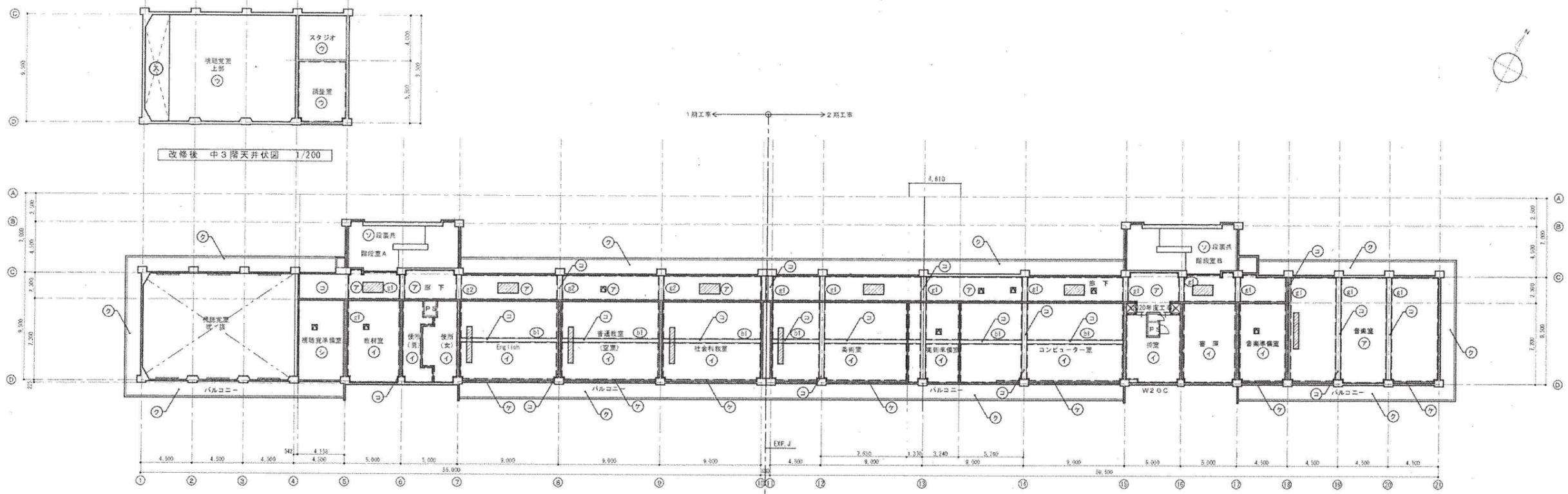
- A工事** 外壁：クラック・浮き部補修高圧洗浄の上可とう形複層塗材E吹付 (アクリルシリコン樹脂仕上) (新設) (窓台：外壁工事に準ずる)
- (1期工事部分)
- コーキング：打継目地・化粧目地・サッシ回り等打ち直し 15x15 (新設)
- B工事** 外壁：既設吹付タイル除却 (集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法・離隔養生共) (窓台：外壁工事に準ずる)
- (2期工事部分 ※)
- クラック・浮き部補修高圧洗浄の上複層塗材E吹付 (アクリルシリコン樹脂仕上) (新設)
- コーキング：打継目地・化粧目地・サッシ回り等打ち直し 15x15 (新設) ※アスベスト含有仕上塗材(レベル3)
- C工事** 梁天：既設塗布防水下地調整の上塗膜防水 (新設)
- E工事** 天端：既設塗布防水下地調整の上塗膜防水 (新設)
- F工事** 見付・軒裏：劣化補修を行い、外装塗材E吹付 (新設)

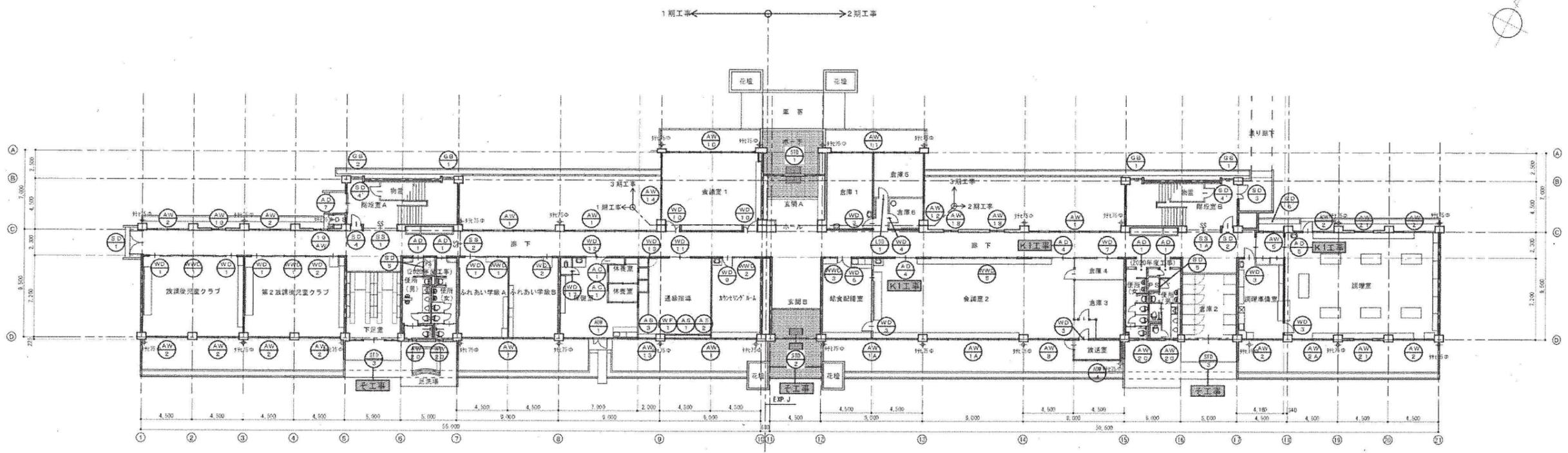
- L工事** 鉄部：ケレン清掃の上SOP塗塗替え (新設) 建具共
- CI工事** 既設アルミサッシ改修：煙突除去後ガラスに取替 (新設)
- K工事** 外壁小口タイル：水洗い洗浄
- K工事** 手摺：100x50角パイプケレン清掃の上SOP塗塗替え (新設)
- 手摺子：16φ #150 ケレン清掃の上SOP塗塗替え (新設)
- M工事** 堅壁：硬質塩ビパイプSOP塗塗替え (新設) 養生管共
- D工事** 巾木：クラック補修高圧洗浄下地調整の上複層塗材E吹付 (アクリルシリコン樹脂仕上) (新設) H-450

- 凡例
- | | |
|----------------------|--------------------------------------|
| (改修前) | (改修後) |
| A 既設仕上：吹付タイル | A工事 |
| B 既設仕上：吹付タイル | B工事 |
| C 既設仕上：塗布防水 | C工事 |
| D 既設仕上：ガラスブロック | 既設ガラスブロック水洗い洗浄 枠・ケレン清掃の上SOP塗塗替え (新設) |
| E 既設仕上：リシン吹付 | E工事 F工事 |
| F 既設仕上：SOP塗 | K工事 |
| G 既設仕上：堅壁 VP75φ SOP塗 | M工事 |
| H 既設仕上：コンクリート打放補修 | D工事 |
| I 既設仕上：スチールパネルSOP塗 | L工事 |
| J 既設仕上：アルミパネル | CI工事 |
| K 既設仕上：磁器質小口タイル | K工事 |

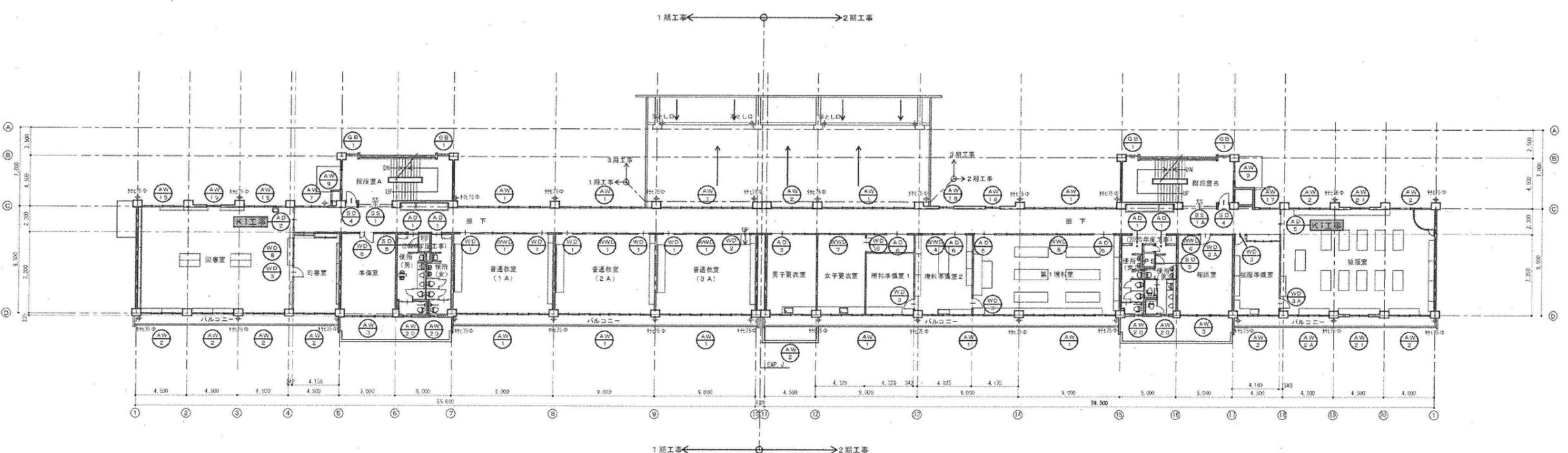
- 凡例
- 前回改修の部分を示す。
 - 前回改修の内容を示す。
 - 今回改修工事範囲を示す。
- ※ 外壁吹付時に空調室外機が支障となる場合は本工事にて適宜、移設復旧のこと

御注文先	三原市役	御承認	年月日	2020.03	中電技術コンサルタント株式会社	建設コンサルタント登録 第26 第27号 1級建築士事務所 登録18(1)第1252号 1級建築士登録 第262345号 専本 業	校閲	設計	設計年月日	2020.03	工事名称	久井中学校長寿命化改修1期工事 (建築主体工事)	図面番号	A-20
			記事								図面名称	改修後 立面図 改修概要	縮尺	1/200





1期工事 ← → 2期工事
1階 建具配置図 1/200

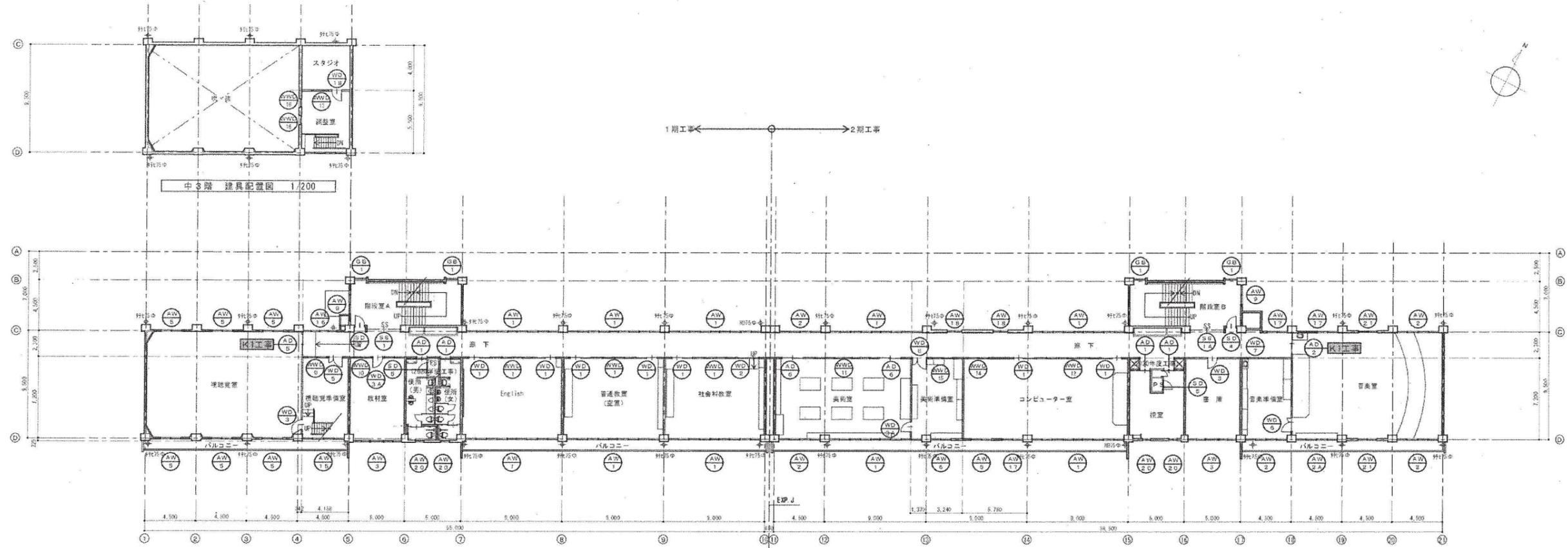


1期工事 ← → 2期工事
2階 建具配置図 1/200

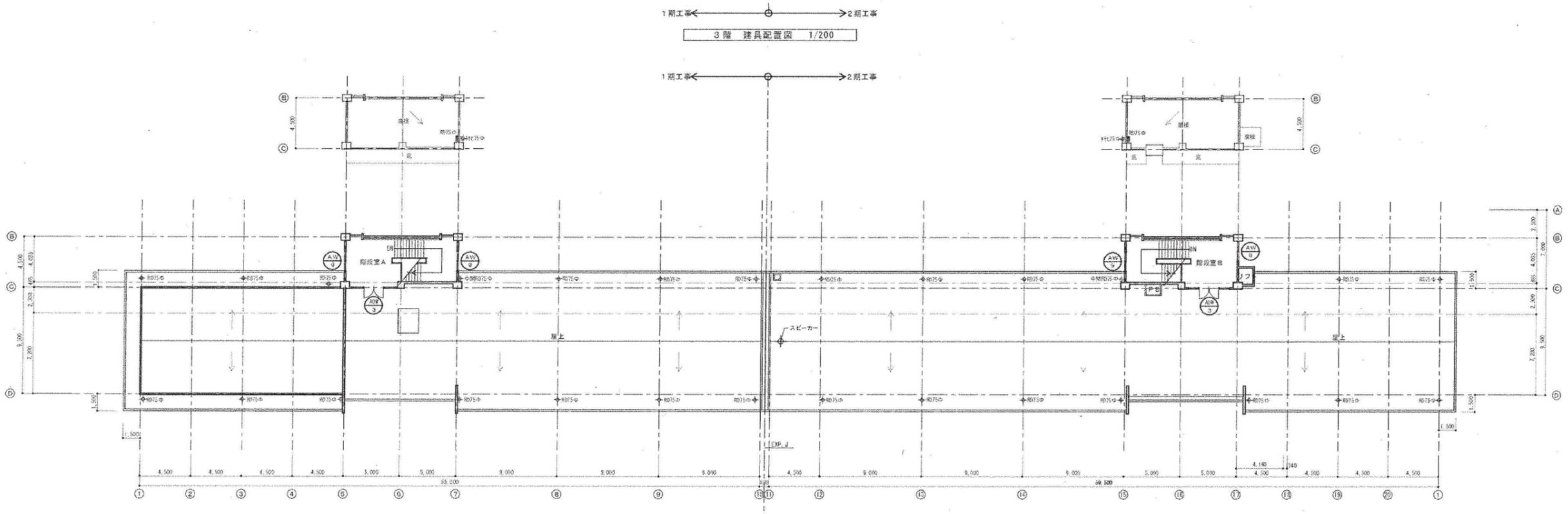
出入口建具マスターキーとする
内部クレセント調整

制注文先	三原市殿	御承諾	年月日	2020.03	中電技術コンサルタント株式会社 〒650-0022 大阪府大阪市東淀川区東中津 2-1-1 TEL: 06-6511-5500	設計	中電技術株式会社 〒650-0022 大阪府大阪市東淀川区東中津 2-1-1 TEL: 06-6511-5500	監理	中電技術株式会社 〒650-0022 大阪府大阪市東淀川区東中津 2-1-1 TEL: 06-6511-5500	工事名称	久井中学校長寿命化改修 1期工事 (建築主体工事)	図面番号	A-23
				2020.03		設計	中電技術株式会社 〒650-0022 大阪府大阪市東淀川区東中津 2-1-1 TEL: 06-6511-5500	監理	中電技術株式会社 〒650-0022 大阪府大阪市東淀川区東中津 2-1-1 TEL: 06-6511-5500	1階・2階 建具配置図		縮尺	1/200

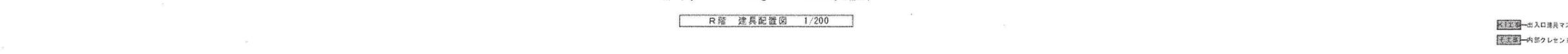
※A3: 50%縮小



2階 建具配置図 1/200



3階 建具配置図 1/200



R階 建具配置図 1/200

出入口建具マスターキーとする
内部クレセント設置

発注先 三原市役	建築主  中電技術コンサルタント株式会社 〒730-0808 広島県三原市本町2丁目2番10号 TEL: 0820-2251501-5	設計 中電技術コンサルタント株式会社 〒730-0808 広島県三原市本町2丁目2番10号 TEL: 0820-2251501-5	監理 三原市役 〒730-0808 広島県三原市本町2丁目2番10号 TEL: 0820-2251501-5	工事名称 久井中学校長寿化改修1期工事（建築主体工事） 図面名称 3階・R階 建具配置図 2020年03月	図面番号 A-24 縮尺 1/200 図例 ※A3: 50%縮小
-------------	--	---	--	---	---

符号・名称・見込	ステンレス製引き分け自動扉 (F1X窓付き) 120	ステンレス製引き分け扉 (F1X窓付き) 120	ステンレス製引き分け扉 (F1X窓付き) 120	鋼製両開きフラッシュ扉 (中置き) 86	鋼製片開きフラッシュ扉 (除去・新設) 86	鋼製片開きフラッシュ扉 86
図面						
場所・数量	玄関A (正設) 1	玄関B (グラウンド面) 1	下足置 2	廊下 1	階段室B1出入口 1	階段室B1出入口 1
仕上	ステンレス (SUS304) H.L.仕上げ	ステンレス (SUS304) H.L.仕上げ	ステンレス (SUS304) H.L.仕上げ	FE塗装	FE塗装	FE塗装
ガラス	STG-5・FL-4 (ランマ)	STG-5・FL-4 (ランマ)	STG-5・FL-4 (ランマ)			
金物	シリンドー錠・光線スイッチ・オートドア検知・遮断装置	戸車・かま錠・フランス高し・引き棒・ステンレスガイドレール	戸車・かま錠・フランス高し・引き棒・ステンレスガイドレール	ビスボルトヒンジ (調整)・シリンドー本締錠 (調整)・フランス高し ドアチェック (取替)	ビスボルトヒンジ (新設)・シリンドー本締錠 (新設)	ビスボルトヒンジ (調整)・シリンドー本締錠 (調整)・フランス高し ドアチェック (取替)
今回工事範囲	W工事	W工事 W工事	W工事 W工事	W工事 Y工事 A工事 M工事	W工事 P工事	W工事 Y工事 A工事 M工事
符号・名称・見込	鋼製片開きフラッシュ扉 86	鋼製片開きフラッシュ扉 86	鋼製片開きフラッシュ扉 86	鋼製両開きアンダール扉 50	鋼製両開き防火シャッター 6	鋼製片開き防火シャッター 6
図面						
場所・数量	階段室A・B入口 5	階段室A・B入口 2	東西使用PS 6	プロパン庫 1	階段室A 3 階段室B 3 計 6	1階廊下 1
仕上	FE塗装	FE塗装	FE塗装	SOP塗	換付塗装	換付塗装
ガラス						
金物	ビスボルトヒンジ (調整)・シリンドー本締錠 (調整) ドアチェック (取替)	ビスボルトヒンジ (調整)・シリンドー本締錠 (調整) ドアチェック (取替)	丁番 (調整)・取手 (調整)	丁番・かんめ錠	ガイドレール・開錠チェーン・シャッターボックス	ガイドレール・開錠チェーン・シャッターボックス
今回工事範囲	W工事 Y工事 A工事 M工事	W工事 Y工事 A工事 M工事	(既設のまま)	W工事	W工事 Y工事 A工事 M工事	(既設のまま)
符号・名称・見込	アルミ製引違い窓 (ランマ・F1X窓付き) 70	アルミ製引違い窓 (ランマ付き) 70	アルミ製引違い窓 (ランマ付き) 70	アルミ製引違い窓 70	欠番	アルミ製引違い窓 70
図面						
場所・数量	教室・廊下 AW-1 26, AW-1A 2	教室・廊下 AW-2 24, AW-2A 3	準備室・材料室・相談室・書庫 4			視覚覚醒・1階廊下・コンピューター室 8
仕上	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法			アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法
ガラス	STG-4・FL-4 (ランマ) (AW-1) STG-4 (カク)・FL-4 (ランマ) (AW-1A)	STG-4・FL-4 (ランマ)	STG-4			STG-4
金物	附属金物一式・アルミ隠蔽・アルミパネル (挿突・換気扇取付用)	附属金物一式・アルミ隠蔽・アルミパネル (挿突・換気扇取付用)	附属金物一式・アルミ隠蔽・アルミパネル (挿突・換気扇取付用)			附属金物一式・アルミ隠蔽・アルミパネル (挿突・換気扇取付用)
今回工事範囲	W工事 AW/1-22ヶ所 AW/1A-2ヶ所	AW/2-5ヶ所 W工事 AW/2A-3ヶ所 W工事 調理室・控室・音楽室	W工事 1ヶ所: 教室			W工事 1ヶ所: コンピューター室
符号・名称・見込	アルミ製引違い窓 70	アルミ製引違い窓 (ランマ付き) 70	アルミ製引違い窓 (ランマ付き) 70	アルミ製引違い窓 70	アルミ製引違い窓 (ランマ付き) 70	アルミ製引違い窓 70
図面						
場所・数量	美術準備室 1	2階廊下 1	会議室2 1	階段室A・B 8	会議室1 1	
仕上	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	
ガラス	STG-4	STG-4・FL-4 (ランマ)	STG-4 (カク)・FL-4 (ランマ)	STG-4	FL-6・FL-4 (ランマ)	
金物	附属金物一式・アルミ隠蔽・アルミパネル (挿突・換気扇取付用)	附属金物一式・アルミ隠蔽	附属金物一式・アルミ隠蔽・アルミパネル (挿突・換気扇取付用)	附属金物一式・アルミ隠蔽 カバー工法	附属金物一式・アルミ隠蔽・アルミパネル (挿突・換気扇取付用)	
今回工事範囲	(既設のまま)	W工事	W工事	W工事	(既設のまま)	

- 符号凡例**
- STD: ステンレス製扉
 - STW: ステンレス製窓
 - STG: ステンレス製ガラス
 - STS: ステンレス製シャッター
 - SD: 鋼製扉
 - SW: 鋼製窓
 - SG: 鋼製ガラス
 - SS: 鋼製シャッター
 - SP: 鋼製パーテーション
 - AD: アルミ製扉
 - AW: アルミ製窓
 - AG: アルミ製ガラス
 - AS: アルミ製シャッター
 - AP: アルミ製パーテーション
 - WD: 木製扉
 - WW: 木製窓
 - WG: 木製ガラス
 - F: 木製扉
 - S: 木製シャッター
 - WWD: 木製扉付木製窓
- 仕上凡例**
- SUS: ステンレス
 - ML: 鋼製
 - HL: ヘアライン
 - アルミ (表面処理・表面仕上げ)
 - B-1: 高着色陽極酸化塗装複合塗装
 - B-2: 高着色陽極酸化塗装複合塗装
 - C-1: 高着色陽極酸化塗装
 - C-2: 高着色陽極酸化塗装
 - D: 化成膜の上塗り塗装
- ガラス凡例**
- FL: フロート板ガラス
 - F: 単板ガラス
 - WP: 入り易き両ガラス
 - WF: 入り易き両ガラス
 - HG: 熱線吸収両ガラス
 - MG: 熱線反射両ガラス
 - TG: 強化両ガラス
 - STG: 字状強化両ガラス
 - DG: 強化両ガラス
 - GB: ガラスブロック
 - A: 空気層
- 今回工事範囲を示す**

符号・名称・見込	AW 1.1 アルミ製引違い窓 70	AW 1.2 アルミ製引違い窓 70	AW 1.3 アルミ製引違い窓 70	AW 1.4 アルミ製引違い窓 (ランマ・FIX窓付き) 70	符号凡例	
断面					S.T.D.: ステンレス製 S.T.W.: ステンレス製 S.T.G.: ステンレス製ガラス S.T.S.: ステンレス製シャッター S.D.: 鋼製 S.W.: 鋼製 S.G.: 鋼製ガラス S.S.: 鋼製シャッター S.P.: 鋼製パーテーション A.D.: アルミ製 A.W.: アルミ製 A.G.: アルミ製ガラス A.S.: アルミ製シャッター A.P.: アルミ製パーテーション W.D.: 木製 W.W.: 木製 W.G.: 木製ガラス F.: 木製 S.: 木製 W.W.D.: 木製付木製	
場所・数量	倉庫1・女子トイレ 1	係房(男) 1	連絡係房 1	倉庫1 1		
仕上	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法		
ガラス	FL-4	F-6	F-6	FL-6・FL-4 (ランマ)		
金物	附属金物一式・アルミ樹脂・アルミパネル (煙突・換気扇取付用)	附属金物一式・アルミ樹脂	附属金物一式・アルミ樹脂	附属金物一式・アルミ樹脂・アルミパネル (煙突・換気扇取付用)		
今回工事範囲	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま		
符号・名称・見込	AW 1.5 アルミ製引違い窓 70	AW 1.6 アルミ製引違い窓 70	AW 1.7 アルミ製引違い窓 (ランマ付き) 70	AW 1.8 アルミ製引違い窓 70	AW 1.9 アルミ製引違い窓 70	AW 2.0 アルミ製引違い窓 70
断面						
場所・数量	連絡係房 1	3階廊下 1	2・3階廊下・音楽教室・コンピューター室 4	廊下 6	廊下・図書室 3	東西男女トイレ 12
仕上	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法
ガラス	FL-6	STG-4	STG-4・FL-4 (ランマ)	STG-4	STG-4	STG-4 (カタ)
金物	附属金物一式・アルミ樹脂・アルミパネル (煙突・換気扇取付用)	附属金物一式・アルミ樹脂	附属金物一式・アルミ樹脂	附属金物一式・アルミ樹脂	附属金物一式・アルミ樹脂	附属金物一式・アルミ樹脂
今回工事範囲	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま
符号・名称・見込	AW 2.1 アルミ製引違い窓 70		AW 2.2 アルミ製引違い窓 (ランマ付き) 100			
断面						
場所・数量	調理室・職員室・音楽室 6		階段室A入口 1			
仕上	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法		アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ			
ガラス	STG-4		STG-4			
金物	附属金物一式・アルミ樹脂		カム錠: 指つめ防止装置 三方枠: ポンテリウム接着剤 L=1.6			
今回工事範囲	既設のまま		既設のまま			
符号・名称・見込	ADW 1 アルミ製引違い窓 (ランマ・FIX窓付き)・親子開きフラッシュ扉 70	ADW 2 アルミ製引違い窓 (ランマ・FIX窓付き)・親子開きフラッシュ扉 70	ADW 3 アルミ製開きフラッシュ扉 (フラッシュパネル付き) 70	ADW 4 アルミ製引違い窓 (ランマ・FIX窓付き)・親子開きフラッシュ扉 70		
断面						
場所・数量	係房 1	調理室 1	R階廊下 2	放送室 1		
仕上	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ カバー工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法		
ガラス	STG-4・FL-4 (ランマ)	STG-4・FL-4 (ランマ)	アルミフラッシュパネル	STG-4・FL-4 (ランマ)		
金物	附属金物一式・アルミ樹脂・丁番・ドアチェック・レバーハンドル・シリンドラ錠 (サムターン付き)・フランス差し	附属金物一式・アルミ樹脂・丁番・ドアチェック・レバーハンドル・シリンドラ錠 (サムターン付き)	アルミ樹脂・丁番・ドアチェック・レバーハンドル・シリンドラ錠	附属金物一式・アルミ樹脂・丁番・ドアチェック・レバーハンドル・シリンドラ錠 (サムターン付き)		
今回工事範囲			既設のまま			

- 符号凡例**
- S.T.D.: ステンレス製
 - S.T.W.: ステンレス製
 - S.T.G.: ステンレス製ガラス
 - S.T.S.: ステンレス製シャッター
 - S.D.: 鋼製
 - S.W.: 鋼製
 - S.G.: 鋼製ガラス
 - S.S.: 鋼製シャッター
 - S.P.: 鋼製パーテーション
 - A.D.: アルミ製
 - A.W.: アルミ製
 - A.G.: アルミ製ガラス
 - A.S.: アルミ製シャッター
 - A.P.: アルミ製パーテーション
 - W.D.: 木製
 - W.W.: 木製
 - W.G.: 木製ガラス
 - F.: 木製
 - S.: 木製
 - W.W.D.: 木製付木製
- 仕上凡例**
- SUS: ステンレス
 - ML: 鋼板
 - HL: ヘアライン
- アルミ (表面処理・表面仕上げ)
- B-1: 無着色無機酸化被膜
 - B-2: 無着色有機酸化被膜
 - C-1: 無着色無機酸化被膜
 - C-2: 無着色有機酸化被膜
 - D: 酸化被膜の上被膜
- ガラス凡例**
- FL: フロート板ガラス
 - F: 強化ガラス
 - WP: 入り障り板ガラス
 - WF: 入り障り板ガラス
 - HG: 熱線吸収板ガラス
 - MG: 熱線反射板ガラス
 - TG: 強化ガラス
 - STG: 熱線吸収強化ガラス
 - DG: 強化ガラス
 - GB: ガラスブロック
 - A: 空気層
- 既設のまま
- 今回工事範囲を示す

図名	AD 1	AD 2	AD 3	AD 4	AD 5	AD 6
窓	アルミ製引き窓扉 70	アルミ製引き窓扉 70	アルミ製引き窓扉 70	アルミ製引き窓扉 70	アルミ製引き窓扉 70	アルミ製引き窓扉 70
場所・数量	東西男女トイレ入口 12	音楽室・図書室 2	男子更衣室 1	会議室2 2	講義室・複写室・視聴覚室 3	女子更衣室・第一理髪室・理髪準備室2・呉服室 6
仕上	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法	アルミ表面処理 (C-1) 仕上げ 在来工法
ガラス	STG-4	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)
金物	附属金物一式・アルミ樹脂・ステンレスレール	附属金物一式・ステンレスレール	附属金物一式・ステンレスレール	附属金物一式・ステンレスレール	附属金物一式・ステンレスレール	附属金物一式・ステンレスレール
今回工事範囲	(既設のまま)	Z工事 (音楽室: 銀取替) K1工事 2ヶ所	Z工事	Z工事 K1工事	Z工事 2ヶ所: 複写室・視聴覚室 K1工事 3ヶ所	Z工事
図名	WD 1	WD 2	WD 3	WD 4	WD 5	WD 6
場所・数量	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36
仕上	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)
ガラス	STG-4	STG-4	STG-4	STG-4	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)
金物	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール
今回工事範囲	Z工事 (建具小口) B1工事 B2工事	Z工事 (建具小口)	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事
図名	WD 7	WD 8	WD 9	WD 10	WD 11	WD 12
場所・数量	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36
仕上	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)
ガラス	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)
金物	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール
今回工事範囲	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口)	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事
図名	WD 13	WD 14	WD 15	WD 16	WD 17	WD 18
場所・数量	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36	本製片引きフラッシュ扉 36
仕上	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)	メラミン化粧板・SOP塗装 (小口、ひも)
ガラス	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)	STG-4 (カタ)
金物	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール
今回工事範囲	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口)	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事	Z工事 (建具小口) A1工事 B1工事

- 符号凡例**
- STD: ステンレス製扉
 - STW: ステンレス製窓
 - STG: ステンレス製ガラス
 - STS: ステンレス製シャッター
 - SD: 樹脂扉
 - SW: 樹脂窓
 - SG: 樹脂ガラス
 - SS: 樹脂シャッター
 - SP: 樹脂パーティション
 - AD: アルミ製扉
 - AW: アルミ製窓
 - AG: アルミ製ガラス
 - AS: アルミ製シャッター
 - AP: アルミ製パーティション
 - WD: 木製扉
 - WW: 木製窓
 - WC: 木製ガラス
 - F: 木製扉
 - S: 木製窓
 - WWD: 木製扉付木製窓
- 仕上凡例**
- SUS: ステンレス
 - ML: 塗装
 - HL: ヘアライン
- アルミ (表面処理・表面仕上げ)
- B-1: 黒色陽極酸化塗装膜付成膜
 - B-2: 黒色陽極酸化塗装膜付成膜
 - C-1: 黒色陽極酸化塗装
 - C-2: 黒色陽極酸化塗装
 - D: 化成膜の上塗付塗装
- ガラス凡例**
- FL: フロートガラス
 - F: 浮きガラス
 - WP: 入り差し板ガラス
 - WF: 入り差し板ガラス
 - HG: 熱線吸収ガラス
 - MG: 熱線反射ガラス
 - TG: 強化ガラス
 - STG: 強化強化ガラス
 - DG: 強化ガラス
 - GB: ガラスブロック
 - A: 空気層
- ①出入口建具マスターキーとする
- ②網戸・カーテンボックス:
- ①下地調整の上SOP塗装替え
 - ②ケレン清掃の上SOP塗装替え
 - ③ドアチェック取付 (新設)
 - ④ドアチェック取付 (撤去)
 - ⑤積層ガラスに取替 (新設)
 - ⑥下地調整の上SOP塗装替え
 - ⑦木製扉・木製窓:
 - ⑧下地調整の上SOP塗装替え
 - ⑨片引戸: レール (撤去)
 - ⑩片引戸: 樹脂ステンレス製
 - ⑪カバー+レール (新設)
- ⑬今回工事範囲を示す。

符号・名称・見込	WD 18 木製片開きフラッシュ窓 30	WD 19 欠番	WD 20 欠番	WD 21 欠番	WF 1 木製引違い 30	符号凡例
図面						STD: ステンレス窓 STW: ステンレス窓 STG: ステンレス製ガラリ STS: ステンレス製シャッター SD: 鋼製扉 SW: 鋼製窓 SG: 鋼製ガラリ SS: 鋼製シャッター SP: 鋼製パーティション AD: アルミ製扉 AW: アルミ製窓 AG: アルミ製ガラリ AS: アルミ製シャッター AP: アルミ製パーティション WD: 木製扉 WG: 木製ガラリ F: 木製扉 S: 木製扉 WWD: 木製扉付木製窓
場所・数量	視覚空間スタジオ入口 1				連絡通路 1	仕上凡例
仕上	しなべニヤの上ビニルレザー貼り				新着ノ子 (葉面: 和紙)	SUS: ステンレス ML: 鉄鋼 HL: ヘアーライン
ガラス						アルミ (表面処理・表面仕上げ) B-1: 無着色陽極酸化塗装複合皮膜 B-2: 着色陽極酸化塗装複合皮膜 C-1: 無着色陽極酸化皮膜 C-2: 着色陽極酸化皮膜 D: 化成膜の上付塗装
金物	下管・押込・ドアチェック・3方ネオプレンゴム張り替え					
今回工事範囲	A1工事 B1工事				既設のまま	
符号・名称・見込	AS 1 アルミ製引違い障子 30	AS 2 アルミ製引違い障子 30	AS 3 アルミ製引違い障子 30		AC 1 アコーデオンドア	
図面						
場所・数量	連絡通路 1	連絡通路 1	連絡通路 1		保潔室 2	
仕上	アルミ表面処理 (C-2) 仕上げ	アルミ表面処理 (C-2) 仕上げ	アルミ表面処理 (C-2) 仕上げ		アルミフレーム・ビニル製	
ガラス	S-4	S-4	S-4			
金物	戸車・引手	戸車・引手	戸車・引手		取手・ローラーキャッチ	
今回工事範囲	既設のまま	既設のまま	既設のまま		既設のまま	
符号・名称・見込	WWD 1 木製扉付木製引違い窓 33	WWD 2 木製扉付木製引違い窓 1	WWD 3 木製扉付木製引違い窓 1	WWD 4 木製扉付木製引違い窓 33		ガラス凡例
図面						FL: フロート型ガラス F: 浮板ガラス WP: 網入り遮光ガラス WF: 網入り型板ガラス HG: 熱線吸収ガラス MG: 熱線反射ガラス TG: 強化ガラス STG: 学校用強化ガラス DG: 化粧ガラス GB: ガラスブロック A: 空気層
場所・数量	各動線入口 9	カウンセリングルーム 1	結核記録室 1	理科準備室 2 1		W1: マスターキーとする。 W2: 網板・カーテンボックス: 下地調整の上SOP塗装塗替え W3: アレン清掃の上SOP塗装塗替え W4: ドアチェック取付 (新設) W5: ドアチェック取付 (撤去) W6: 耐火シャッター・防火戸: 設置 W7: 網板除去後ガラスに交換 (新設) W8: 下地調整の上SOP塗装塗替え W9: 木製扉長・木製扉: 下地調整の上SOP塗装塗替え W10: 片引戸: レール (撤去) W11: 片引戸: 樹脂ステンレス製 カバー+レール (新設)
仕上	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装		
ガラス	FL-3	FL-3	FL-3	FL-3		
金物	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール 付属金物一式	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール 付属金物一式	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール 付属金物一式	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール 付属金物一式		
今回工事範囲	W1/W2は別記に依る	W3/W4は別記に依る	W5/W6は別記に依る	W7/W8は別記に依る		
符号・名称・見込	WWD 5 木製扉付木製引違い窓 33			WWD 6 木製扉付木製引違い窓 33		
図面						
場所・数量	会議室 2 1			相談室 1		
仕上	SOP塗装			SOP塗装		
ガラス	FL-3			FL-3		
金物	戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール 付属金物一式			戸車・引手・差込み錠・ステンレスレール 付属金物一式		
今回工事範囲	W9/W10は既設のまま			W11/W12は別記に依る		

